

IT パスポート試験対策のための Android アプリ開発

産業情報学部 産業情報学科 学籍番号 11DB014 上地佑弥

1. はじめに

IT パスポート試験は、初級システムアドミニストラータ試験の後継試験として捉えられている。2011年には国家試験で初めて CBT 方式が採用され、試験は全国 101 会場で随時行われている。

IT 関連の職種に就職したいと考えたときに、IT パスポートの資格取得が一番初めに掛かることだと考え、Android アプリで IT パスポートの試験対策アプリの作成を行う。

2. Android アプリ制作

2.1 eclipse について

オープンソースの統合ソフトウェア開発環境の一つである。本論文では、eclipse を使い Android アプリを制作する。

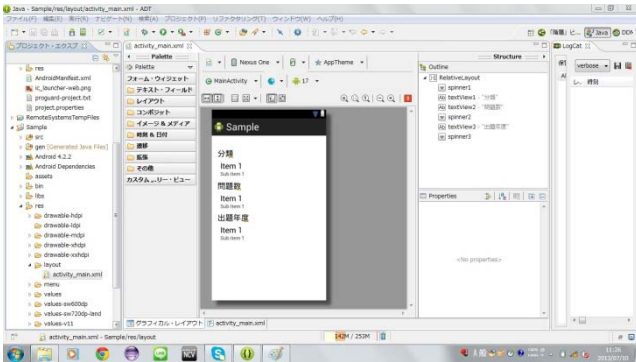


図 2.1 eclipse の開発環境画面

2.2 Android SDK について

AndroidOS を搭載したスマートフォンやタブレット端末で動作するプログラムを開発するために必要なソフトウェアをひとまとめにしたパッケージで、パソコン上で端末を再現するエミュレータなどで構成されている。



図 2.2 エミュレータの画面

2.3 IT パスポートの需要

図 2.3 を見ると、合格者の平均年齢が下がってきているので、これは学生にも IT パスポートの認知度が上がり、IT パスポートの重要性が高まっているのが表れている。

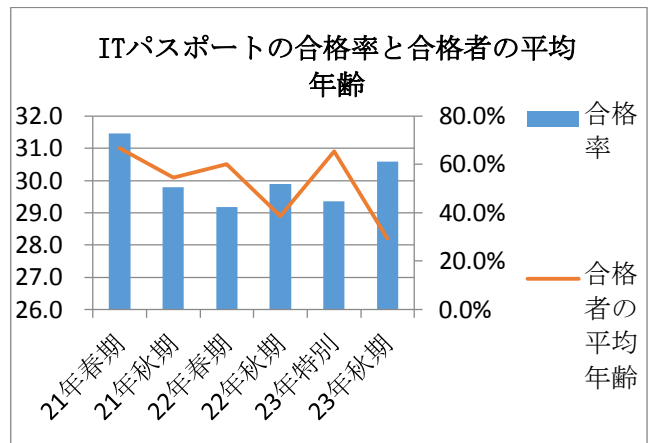


図 2.3 IT パスポートの合格者と合格者の年齢推移[1]

2.4 問題提起

アプリの形式は、一問一答の形で問題を提示していると考えている。分類別・問題数・出題年度などを選択できるようにすることで、苦手なジャンルだけを解くことができ、問題数を選択できることで空いた少しの時間だけでも勉強することを可能にする。この問題提起を実現するために SQLite を用いて制作しようと考えている。



図 2.4 アプリの問題提起画面

3. おわりに

本論文では、いつでも IT パスポートの勉強ができるように Android アプリでの制作を行っている。Android アプリを制作することにより、java の理解を深めることができ、プログラミングの良い勉強になった。今後の課題は、独自のコンテンツを考え制作することである。目標は、勉強するためのモチベーションを維持できるようなアプリにし、楽しんで IT パスポートを学ぶことのできるアプリにできれば良いと考えている。

参考文献および参考ウェブサイト

[1] IT パスポート試験ドットコム

<http://www.itpassportsiken.com/iptoukei.html>